

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

伊勢崎市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県伊勢崎市

### 3 地域再生計画の区域

群馬県伊勢崎市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1995年には184,420人であったが、外国人の人口増加の影響もあり、住民基本台帳によると2020年には213,267人で、増加傾向である。

年齢三区分別人口を2015年（国勢調査）と2019年（群馬県年齢別人口統計調査）で比較すると、年少人口は29,540人から27,727人に、生産年齢人口は128,354人から128,331人に、老年人口は49,221人から52,763人になっており、それぞれの割合の変化は、1.0%の減少、0.5%の減少、1.5%の増加となった。

自然動態の推移を見ると、少子高齢化の影響により出生数が減少傾向にあり、2014年以降自然減の状況が続いている。2019年には460人の自然減となっている。また、合計特殊出生率は、2019年には1.42となっており、国や県と比較すると若干上回っているが、人口置換水準とされている2.07より低い状態が続いている。

社会動態の推移を見ると、近年は社会増の状況で、2019年は304人の社会増となっている。2019年の年齢階級別純移動者数では20歳代前半の若者の転出超過が272人と目立っており、これは、進学や就職を契機としたものと考えられる。

近年続いている自然減の状況や老年人口割合の増加により、今後は緩やかな人口減少局面に入ると予測され、国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、2040年には約194,000人に減少すると推計されている。

人口の変化がもたらす影響は、地域を支える産業が衰退し、地域経済が縮小す

ることをはじめ、税収の減少による公共サービスの質・量の低下、地域活動の担い手不足など様々な負の側面が考えられる。

これらの課題に対応するため、若者に魅力ある働く場の確保や安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進め、転出者の抑制及び定住者の増加を図る。また、転出者のUターン就職の促進や交流人口及び関係人口の創出・拡大に努め、転入者の増加を図るとともに、地域資源を生かし、時代にあった持続可能なまちづくりを推進する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標1 しごとの創生
  - 基本目標1-1 安定した雇用の創出
  - 基本目標1-2 ひとの流れの創出
- ・基本目標2 ひとの創生
  - 基本目標2-1 結婚・出産・子育ての希望の実現
  - 基本目標2-2 地域を担う人材の育成
- ・基本目標3 まちの創生
  - 基本目標3-1 時代にあった地域づくり
  - 基本目標3-2 安心安全な暮らしの実現

## 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規求人数	1,563件	1,602件	基本目標1-1
イ	年間観光入込客数	331万人	390万人	基本目標1-2
ウ	合計特殊出生率	1.42	1.66	基本目標2-1
エ	将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合	75.0%	85.0%	基本目標2-2

オ	伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合	73.6%	76.0%	基本目標 3-1
カ	刑法犯認知件数	1,634件	1,400件	基本目標 3-2

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

伊勢崎市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 安定した雇用を創出する事業
- イ ひとの流れを創出する事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望を実現する事業
- エ 地域を担う人材を育成する事業
- オ 時代にあった地域づくりを推進する事業
- カ 安心安全な暮らしを実現する事業

#### ② 事業の内容

- ア 安定した雇用を創出する事業

地域産業の活性化や付加価値の向上、就労への総合的支援、企業誘致の推進、農業の成長産業化等、魅力ある多様な就業機会を創出し、誰もが働きやすい環境を整備することにより、継続的に安定した雇用機会を創出する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・ 起業しやすい環境の整備
- ・ 高齢者の就労支援の充実
- ・ 立地支援策のPR
- ・ 認定農業者及び新規就農者の育成・支援 等

## イ ひとの流れを創出する事業

地域資源や観光資源を生かした誘客、関係人口の創出・拡大、地方居住の推進等、魅力ある観光づくりやスポーツイベントの充実を推進し、交流人口や関係人口の拡大に努めるとともに、U I J ターンの推進や本市にある大学に通う学生に対する本市内への就職を促進するなど、転入者の増加を図る事業。

### 【具体的な事業】

- ・華蔵寺公園遊園地の充実
- ・世界文化遺産「田島弥平旧宅」の活用
- ・市主催スポーツイベントの充実
- ・進学による転出者のUターン就職の促進 等

## ウ 結婚・出産・子育ての希望を実現する事業

母子保健サービスの充実や子育て支援の充実等、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、転出の抑制と出生数の増加に取り組むとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進する事業。

### 【具体的な事業】

- ・妊娠出産支援の充実
- ・地域ぐるみの子育て環境づくり
- ・保育施設・体制の整備 等

## エ 地域を担う人材を育成する事業

地域に根ざした特色ある教育の推進やグローバル教育の推進等、地元愛を育むふるさと学習を推進するとともに、次代のまちづくりや地域の活性化を担う人材を育成する事業。

### 【具体的な事業】

- ・伊勢崎市独自の教育構想の策定・推進
- ・小中9年間の一貫指導による英語コミュニケーション能力の育成
- ・中学生の海外語学研修を通じた交流活動の推進 等

## オ 時代にあった地域づくりを推進する事業

地域医療体制の充実、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる体制の整備、魅力ある居住環境の整備、交通体系の確立等、

魅力ある都市環境を構築して定住の促進を図るとともに、時代にあった持続可能なまちづくりを推進する事業。

**【具体的な事業】**

- ・医療機関の連携支援
- ・自己健康管理意識の啓発
- ・集える公共空間の整備
- ・コミュニティバス、路線バス、鉄道の相互の結節性の向上 等

**カ 安心安全な暮らしを実現する事業**

安心できるまちづくりや空き家対策の推進等、地域防災体制の充実や防犯体制を強化し、安心安全な暮らしの実現に取り組むとともに、快適で安全な住環境の保全を図る事業。

**【具体的な事業】**

- ・災害など非常事態発生時の初動体制の強化
- ・企業・関係機関と連携した協力体制の強化
- ・空き家の利活用の推進 等

なお、詳細は第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

4,240,000千円（2021年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度7月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに伊勢崎市公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

**5-3 その他の事業**

該当なし

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで